この度は,「第 105 回　薬剤師国家試験　回数別既出問題集〔改訂版〕」をご購入いただき，誠に有難うございます。

本書について，以下のとおり補足及び訂正させていただきます。

ご迷惑をお掛け致しまして申し訳ございませんが，何卒宜しくお願い申し上げます。

薬学ゼミナール編集　第 105 回　薬剤師国家試験　回数別既出問題集〔改訂版〕　補足及び訂正一覧表

	訂正前	訂正後
P168　問 130　解説 選択肢 4	・・・・・・の 1 つである。我が国でも 2003 年（平成 15 年）に患者が発生したが、それ以降の患者発生はない。	・・・・・・の 1 つである。2002 年（平成 14 年）に中国の広東省で発生したが、我が国での発生はない。

下表は、2021 年 12 月の医薬品添付文書改訂に伴う追補となります。

	訂正前	訂正後
P236　問 186　問題文	子宮内膜症の病態と治療に関する記述のうち、正しいのはどれか。2 つ選べ。	子宮内膜症の病態と治療に関する記述のうち、誤っているのはどれか。2 つ選べ。
P236　問 186　解説　選択肢 4	誤　治療薬として、低用量黄体ホルモン・卵胞ホルモン配合剤、Gn-RH（LH-RH）アゴニストであるリュープロレリン酢酸塩やゴセレリン酢酸塩など、黄体ホルモン製剤であるジエノゲストなどが用いられる。Gn-RH アンタゴニストであるガニレリクス酢酸塩は、調節卵巣刺激下における早発排卵の防止に使用される。	正　GnRH アンタゴニストであるレルゴリクスは、下垂体の GnRH 受容体に対する選択的な拮抗作用を示すことで、下垂体からの性腺刺激ホルモン分泌を抑制し、卵巣からのエストラジオールなどの性ホルモン分泌を阻害するため、子宮内膜症に基づく疼痛の改善に用いられる。
P236　問 186　解答	3、5	1、2

下表は、2022 年 5 月の医薬品医療機器等法の改正に伴う追補となります。

	訂正前	訂正後
P80　問 75　解説に追加	……承認を与えることを可能としている。	……承認を与えることを可能としている。また、医薬品及び医療機器についても、緊急承認制度として条件及び期限を付した承認の仕組みが、2022 年度より導入されている。これに伴い、1、2 も解答となりうる。
P80　問 75		削除

下記は食品表示基準の一部改正に伴う追補訂正となります。

	訂正前	訂正後
P299　問 229　選択肢 4	……特定原材料（7 品目）として……	……特定原材料（8 品目）として……
P299　問 229　解説 4	……高いと思われる 7 品目……えび、かに）のことであり……	……高いと思われる 8 品目……えび、かに、くるみ）のことであり……